

井上ひろし公式ホームページ: https://www.inoue-kishiwada.com

井上ひる



結果 3

競輪場に 37億円!!

37億円での競輪場大規模改修に 反対したのは私だけでした!

3年前、当時の信貴市長が120億円で競輪場を建替えるとして議会に提案し、公明・共産・自民の3大会派が賛成16名、反対8名で建替えが決定しました。

その後信貴前市長がこの事業を急に取り やめましたが、今回の9月議会において規模は小さくなりましたが、第1期工事37 億円で競輪場の大規模改修を行いたいとして、その設計料が補正予算として提案され私を除く24名の賛成で可決されました。 反対は私だけでした。

担当の説明によると、平成31年より工事を始め33年に終了、借入返済の16年間に毎年1億円弱の市への繰入と最終年に4.8億円の基金を積み立てるとのこと。

事業費37億円は現在の基金と借入で賄い、16年間に借入の借金を全て返すらしい。

ただ、この説明で腑に落ちないのは、第 2期工事としておおよそ15億円ほどの工 事も計画しているのに、担当者はあくまで第1期工事のみを前提とした事業シュミレーションしかしていないことです。

第2期工事も含めたシュミレーションをやれば、赤字は確定ではないか。

市民の競輪場に対する考えの多くは、「事業が赤字にならずいくらかでも市へ利益を入れてくれるのならば続けるが、施設の大規模改修はせず小規模改修で対応し、施設がダメになるならばその時点で競輪を廃止すべき」ではないでしょうか。

残念ながら競輪場の大規模改修の設計委託料の補正予算に反対した私も来年3月におそらく提案されるであろう工事に関する37億円の本予算には反対することができません。

<u>自分の主張と異なることでもいった</u> <u>ん議会で決議されれば、それに従わね</u> ばならないのが民主主義です。



中核市 中核市 への 移行否決。

国や府への切り込み手段が失われる結果に。

市民と直接接する市は、全国で 772 であり、それらを規模別で分けると政令指定都市・中核市・その他の市となります。

以前は中核市とその他の市との間に特例市がありましたが、4年前に中核市の基準を人口30万人以上から20万人以上に下げて特例市は無くなりました。

ただこの特例市を無くす法律施行後5年 以内(32年3月末)に、それまで特例市 であった市が20万人未満になっていても 施行時特例市として中核市になることが出 来るとあり、岸和田市はその施行時特例市 に当たります。

永野市長は6月議会において中核市移行のための専従組織を作りたいと提案しましたが、財政に余裕のない本市では時期尚早であり、市長の考えには納得がいかないと私も反対し否決されました。そして9月議会の前に財政再建策について中間報告があり、この再建策なら中核市移行に伴う費用は捻出できると考え、市長の再提案に賛成の意を示しました。

しかし残念ながら賛成3名:反対22 名で否決。賛成の3名は私と市長の与党 である維新議員2名だけでした。

中核市になれば、現在府が持っている 権限の多くが市に移譲されるため、保健 所や児童相談所あるいは廃棄物関係の専 門職員などを新たに雇わねばなりません。 これ以外にも多額の費用がかかって くることでしょう。

市職員や議員の多くは財政難を理由 に「中核市への移行を急ぐべきではな い」と懐疑的です。

しかし<u>権限をもらえば、硬直化する</u> 福祉・社会保障・教育関係の事業に市 として大きく大胆に切込むことができ ます。

前回の議会だよりでも記載しました ように、本当の財政難は借金の過多に よるものではなく、経常収支比率(財 政の硬直)の悪化が岸和田市の抱える 財政問題の本質であると考えるにいた りました。

それを解決するには、抜本的な手法 を取る以外にはありません。

例でいえば、<u>岸和田市における生活</u> <u>保護の扶助費は既に120億円にもな</u> っています。

<u>市の一般会計が750億円であるの</u> <u>にその内120億円が生活保護に使わ</u> れているのです。

この解決には、一時的にでも多くの 社会福祉主事を担当課に送り込み、民 生委員の数を増やし、就労指導や健康 指導・生活実態の改善などの指導を強 めることで独り立ちを促し、扶助費を 減らす努力をしていく以外にはあり得 ません。

永野市長の考えは中核市に移行する ことで、岸和田市の組織や行政を抜本 的に見直し、国や府そして専門家を入 れて現在停滞している岸和田市にカン フル剤を打ち、市を立直すことではな かったかと思います。

本庁舎建替え 市民の声は どこに?

「市役所本庁舎建替の検討状況の市民 説明会」が市内6か所で9月初旬から下 旬にかけて開催されました。

これに先立つ8月に議員への説明があ りました。既に議会では「庁舎建替特別 委員会」(私はメンバーではありません) が設置されています。

庁舎の建替が検討されたのは平成23 年11月に職員だけで構成された建替え 検討委員会が立上げられ、建替えの基本 的な概要を「岸和田市庁舎建替庁内検討 委員会報告」として平成25年5月に市 のホームページに掲載されています。

その後4年の間ほとんど動きがなかっ たのですが、昨年度から建替えに必要な 基金の創設などで議会に提案されてきま した。「庁舎建替特別委員会」での審議 が行われることから、議会のルールとし て議員である私はこの紙面において庁舎 建替について意見を述べることはできな くなりました。

そこでこの紙面では私の居住する野田 町の方々の意見を列記します。

- 1. 岸和田駅周辺の立地を生かし、庁舎 だけでなくホテルなどを併設した岸和 田市のランドマークとなるような複合 的な建物としこの地域を賑わいのある 街とすべきだ。
- 2. 福祉総合センターの建設において近 隣住民は大変迷惑を受けた。建設時の

- 公害だけでなく、ビル風や車両の利用 状況についても考慮をすべきだ。
- 3. 駅に近いという立地を考慮し、来庁 者への駐車場料金を高めに設定する等 公共交通の利用を促すようにし、 交通 公害の軽減や周辺住民の生活を優先し た計画を提示すべきだ。
- 4. 庁舎の移転が完了する7年後を見据 えれば、ITなどパソコンで処理できる 節囲が広がり市役所へわざわざ来なく てよくなるではないか。また少子高齢 化が進むことを考えれば市民センター 5ヶ所を分庁舎として機能させれば大 きな庁舎は不要なはずだ。本庁舎をコ ンパクトにして費用削減すべきだ。
- 5. 子供たちが遊べ市民が憩えるような 緑豊かな公園を併設すべきだ。
- 6. 公民館・図書館などの施設を併設し 市民の利便性を向上させるべきだ。

以上が野田町の住民の方々の意見です。

私自身この問題については、

「他市の市役所建替事業は初段階から 市民と対話を重ね計画を推進しているが 岸和田市は市の職員が考えたことで進め ている、市民の意見が反映されていない もっと市民の意見を重視すべきだ。」と 考えます。



学力最低 岸和田市

今年度の全国学力テストの 結果が出ました!

5年前に比べ大阪府は下から3 番だったのが全国平均に近づきつ つつあります。

しかし、本市の学力はまだまだ の状態です。

※最近は順番が出ませんので、右表の正答率等を参 考に皆さんでお考え下さい。

平成30年度全国学力調查(小学校)

科目	岸和田市 正答率	岸和田市 無回答率	大阪府 正答率	大阪府 無回答率	全国 正答率	全国 無回答率			
国語A	62.0	6.4	68.0	4.2	70.7	3.5			
国語B	47.0	6.7	52.0	4.3	54.7	3.8			
算数A	58.0	4.1	63.0	2.5	63.5	2.5			
算数B	44.0	11.7	51.0	8.1	51.5	7.9			
理科	53.0	2.2	57.0	1.4	60.3	1.2			
平均値	52.8	6.2	58.2	4.1	60.1	3.8			

平成30年度全国学力調査(中学校)

科目	岸和田市 正答率	岸和田市 無回答率	大阪府 正答率	大阪府 無回答率	全国 正答率	全国 無回答率
国語A	71.0	4.8	75.0	3.4	76.1	3.1
国語B	54.0	6.0	59.0	3.9	61.2	3.0
算数A	60.0	5.3	65.0	3.7	66.1	3.3
算数B	39.0	19.8	46.0	14.8	46.9	12.6
理科	59.0	8.0	64.0	5.9	66.1	5.0
平均値	56.6	8.8	61.8	6.3	63.3	5.4



パスポート センター

10月1日から市役所でパスポート が発給されています。

パスポート業務は市民課の窓口で 行っています。

10月分1カ月の申請数で607件 の利用がありました。

■パスポートについての問い合わせ先

【市民課】岸和田市役所新館 1 階 住民担当 Tel: 072-423-9454 Fax: 072-422-3345

岸和田 井上ひろし



続きは井上ひろし公式 WEBサイトで

https://www.inoue-kishiwada.com/





井上ひろし後援会事務局

X:072-455-5525 ル:h.inoue-2014@asahinet.jp ムページ:https://www.inoue-kishiwada.com/

井上ひろしの日々の活動を、公式 ホームページに随時アップ! 検索は「岸和田 井上ひろし」で。

岸和田 井上ひろし

